

# 広島県森林協会報

題字 正木 完

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 8-23 林業ビル5階 (一社)広島県森林協会 編集責任者 梶保 節男  
TEL 082-221-7191 FAX 082-221-7194 E-mail:mori-101@giga.ocn.ne.jp http://www.hsk.ecweb.jp/

## 第47号



(世界遺産「宮島」: 初日の出)

### 目 次

平成29年新年のごあいさつ			
農林水産局長	2	平成28年度山地災害発生状況とその復旧	8
一般社団法人広島県森林協会会長	3	平成28年度林道施設災害発生状況とその復旧	10
平成28年度治山・林道コンクール	4	森林協会往来	12
平成29年度林野関係予算概算決定の概要	6	森林協会等の今後の行事	12

## 『 木を育て 森を育み 土砂防ぐ 』

平成28年度山地災害防止標語コンクール最優秀賞(林野庁長官賞) 和歌山県有田市 岡本 浩希 さん

## 新年のごあいさつ

### 広島県農林水産局長 上 仲 孝 昌



平成29年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。皆様方には、平素から治山・林道・造林・自然公園事業等の推進を通じて、本県農山村地域の振興をはじめ、安全で豊かな県土づくりに御尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと4月の熊本地方を震源とする地震に続き、10月に鳥取県中部で地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。広島県においても6月の梅雨前線に伴う大雨による土砂災害や林道災害が発生しました。このため、緊急治山事業や林道災害復旧事業として来年度中の完成を目指し国・関係市町と連携を図りながら、被災地の一日も早い復旧・復興に取り組んでいるところです。

また、平成26年8月に発生した広島市豪雨災害の復旧を最優先に取り組んできておりますが、既に緊急治山事業12箇所が完了し、通常事業についても順次工事に着手しているところであり、山地災害防止機能等の森林の有する公益的機能を維持・発揮させることへの重要性がますます認識されています。

このような状況を踏まえ、県では公益的機能の低下が懸念される森林について、人工林の間伐や里山林の整備・保全する取組を進めるとともに、これらの森林を支える人材を育成するため、森林保全活動に取り組む方々の育成を推進しているところです。

さて、昨年5月に森林法等の一部が改正され、林業の成長産業化を実現するため、適切な森林施業を通じて、国産材の安定供給体制の構築、森林資源の再造成の確保及び公益機能の維持増進を図ることを目的として、伐採後の造林状況の報告の義務付け、森林経営計画の認定要件に鳥獣害対策の追加、森林の所有者や境界の情報の整備（林地台帳）などの措置が講じられました。

本県におきましても、こうした国の方針に呼応しつつ、競争力のある県産材の供給体制の構築に向け、「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン アクションプログラム」を定めているところであり、住宅の主要構造部材の県産材シェアを拡大する取組に加え、間伐材等加工流通施設の整備、木材生産の効率化など、流通・加工・生産を一体的に捉えた施策を引続き展開して参ります。

そして、県営林事業については、「第一期県営林中期管理経営計画」の4年目を迎えます。県内で最も大きい林業経営体であることを踏まえつつ、木材の伐採・搬出・流通コストの低減を図るとともに、新たな販売先の確保に取り組みながら木材の安定供給を進めることとしております。

こうした施策を着実に実施するためには、貴協会並びに会員の皆様方との緊密な連携が不可欠と考えておりますので、本年も、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

新しい年の門出に当たり、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 一般社団法人 広島県森林協会 会長理事

## 東広島市長 藏田 義雄

新年明けましておめでとうございます。

平成29年の新しい年を迎え、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方には、平素から一般社団法人広島県森林協会の業務、とりわけ林野公共事業の推進につきまして格別の御支援と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本協会は、昭和31年に設立し、昭和52年に社団法人として改組以来、広島県の森林・林業の発展のため、県・市町村、関係団体等と一体となり半世紀を超えて活動して参りました。

さらに、平成24年6月、公益法人制度改革に基づき、「一般社団法人」へ移行いたし、現在5年目を迎え、各種公益目的事業にも取り組んでいるところです。

これもひとえに、会員であります市町・森林組合や県及び関係各位の皆様の御協力と御指導によるものと、深く感謝申し上げます。

今後とも会員の皆様をはじめ、各方面の皆様とともに地域振興のため、努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

さて、地球温暖化の原因となる温室ガスの削減目標の達成について、これまで各界から様々な意見がなされてきましたが、「平成29年度税制改正大綱」において一定の結論が得られたところであります。

それによりますと、地球温暖化対策のための税については、本格的な普及に向けて経済産業省、環境省、林野庁の3省庁が連携して取り組むこと。市町村が実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得るとされました。

このような状況の中、近年、地球温暖化に伴う異常気象等により、自然災害が多く発生しており、すでに異常気象ではなく、これが正常だとも言われております。ここ数年の状況をみておりました平成26年8月の広島市における土砂災害をはじめ、昨年も熊本の震災とそれに続く豪雨災害と噴火被害、これまで経験したことがない北海道での大雨被害、岩手県での局所的な豪雨被害、さらに本県でも東部を中心に大雨による広範囲の冠水に見舞われたところであります。

日本のみならず世界各国で起こる大規模自然災害を見るにつけても、改めて継続的な森林整備等を含めた温暖化対策が重要であることが再認識されます。

森林協会としても、国・県の災害復旧施策に積極的に協力するとともに、防災や水源涵養など森林の公益機能の維持発揮をもたらす林業施策の普及啓発の重要性に鑑み、これまで以上に、地域の安全・安心を確保する森林整備事業、治山・林道事業の推進に取り組んで参ります。

このため、公共事業の実施に伴う、森林・治山・林道の測量設計調査受託業務を着実に実施することなどを通じて、本県の森林整備等を推進するとともに、法人組織の経営安定化に向け効率的な運営努力を継続して参る所存でございます。

終わりになりましたが、会員の皆様にとって本年がより良い年となりますようご祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



## 平成28年度 治山・林道コンクール

(一社) 日本治山治水協会及び日本林道協会主催の「平成28年度治山・林道コンクール」表彰式が、平成28年12月1日に東京都千代田区ルポール麹町で開催されました。

本県からは、広島県森林土木建設事業促進協議会と共催で実施した治山・林道コンクールの中から、治山工事1点、林道工事1点、林道維持管理1点を県代表として推薦し、次のとおり受賞されました。

民有林治山工事コンクール部門      日本治山治水協会長賞      有限会社 宮田工務店(庄原市)



復旧治山事業（庄原市東城町川西地区）溪間工事 及び 山腹工事



受賞された宮田工務店 宮田 豊 さん（写真中央）

**民有林林道工事コンクール部門 日本林道協会長賞 株式会社 角栄組(庄原市)**



界谷小峠線その2 (庄原市比和町)

**林道維持管理コンクール 日本林道協会長賞 北広島町「菅原線」**



臥龍山へ登る舗装路



終点のそばには延霊水の汲み場がある



2016.12.01



2016.12.01

受賞された 高木 八幡高原自然館管理組合事務局長、成瀬 北広島町芸北支所長 (左から2、3人目)

## 平成29年度林野関係予算概算決定の概要

平成28年12月22日に閣議決定された平成29年度予算概算額は、林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進を目指して次のとおり決定されました。

### 1 林野関係予算総括表 2,956億円 (単位:億円, %)

区 分	28年度 当初予算額	29年度		28年度
		概算決定額	当初比	2次補正額
公共事業費	1,900	1,900	100.0	663
一般公共事業費	1,800	1,800	100.0	410
治山事業費	597	597	100.0	100
森林整備事業費	1,203	1,203	100.0	310
災害復旧等事業費	100	100	100.0	253
非公共事業費	1,033	1,055	102.1	360
総 計	2,933	2,956	100.8	1,022

(注) 1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金及び農山漁村振興交付金に林野関係事業が措置されている。

### 2 主な予算の内容 ( ) 内は前年度予算額

#### 治山事業(公共) 59,736(59,723)百万円

地震・集中豪雨等に対する山地防災力の強化のため、荒廃山地の復旧・予防対策、津浪に強い海岸防災林の保全、保安林の水土保持機能の強化等による事前防災・減災対策を推進する予算が組まれています。

#### 森林整備事業(公共) 120,313(120,286)百万円

森林吸収源の確保に向け施業の集約化や森林整備の低コスト化を図り、間伐や路網整備、主伐後の再造林等を推進するほか、条件不利地等における森林整備のための予算が組まれています。

#### 次世代林業基盤づくり交付金(非公共) 7,010(6,141)百万円

需要に応じた低コストで効率的な木材の生産・供給、木材利用の拡大を実現するため、CLT(直交集成材)等を活用した木造公共建築物の整備等により需要拡大を図るとともに、木材加工流通施設、苗木生産施設等の整備、間伐材生産・路網整備などを総合的に支援する予算が組まれています。

#### 施業集約の加速化(非公共) 891(620)百万円

改正森林法を踏まえ、施業集約化に向けた森林所有者・境界の明確化と、森林情報の整備・提供を緊急に進めるとともに、ICTを活用して効率的に施業集約化を進める仕組みづくりを推進するための予算が組まれています。

# 平成29年度の林野公共事業

## 現状と課題

### 森林吸収源の確保

- 地球温暖化対策計画(平成28年5月閣議決定)に基づき、第2約束期間における森林吸収量3.5%(90年度比)及び2030年度の森林吸収量2.0%(13年度比)の達成を目指す

年平均52万haの間伐等の森林吸収源対策の着実な推進が必要

### 林業の成長産業化

- 人工林資源が本格的な利用期を迎える中、豊富な資源を活用し林業を成長産業として確立
  - 改正森林法も踏まえ、奥地水源林の整備や鳥獣被害対策等を強化
- 林業の集約化、路網整備による生産基盤の強化が必要

### 国土強靱化への対応

- 集中豪雨や地震等による激甚な災害が各地で発生
- 集中豪雨や南海トラフ巨大地震、火山噴火等による大規模災害に備えた国土の強靱化が課題

崩壊地等の復旧整備に加え、事前防災・減災の観点からの対策の強化が必要

### 震災復興対策

- 東日本大震災による被害  
海岸防災林の復旧・再生、放射能汚染への対応が必要

## 平成29年度予算概算決定の内容

地球温暖化を防止するとともに、豊富な森林資源を循環利用するための間伐・再造林等の森林施業や路網の整備等の着実な実施等により林業の成長産業化を実現  
近年の集中豪雨等による山地災害の発生や地球温暖化による山地災害発生リスクの上昇予測等を踏まえ、荒廃山地の復旧整備とともに、事前防災・減災対策を推進

### 森林整備事業

～地球温暖化防止など多面的機能発揮に向けた森林整備の推進～

森林の多面的機能の発揮を図りつつ資源の循環利用を通じて林業を成長産業として確立していくため、施業の集約化や路網整備により生産基盤を強化し、間伐等の森林整備を推進

- ・ 健全な森林の育成に向けて鳥獣害防止施設の改良を含めた整備とあわせ、低コスト化を図りながら間伐・再造林等を推進
- ・ 奥地水源林等であって所有者の自助努力によっては適正な整備ができない森林について、公的主体による間伐や針広混交林への誘導などを推進



多様な健全な森林の育成

### 治山事業

～事前防災・減災対策の推進～

近年の集中豪雨や地震等による激甚な山地災害の発生や、地球温暖化の影響や南海トラフ巨大地震等により山地災害発生リスクが一層高まると予測されていることを踏まえ、地域の安全・安心を確保するための事前防災・減災対策を推進

- ・ 激甚な災害に対し、崩壊箇所等の調査や、土石流等の低下を防ぐ緊急的な対応を、治山施設の整備等と一体的に実施するとともに、治山等激甚災害対策特別緊急事業の委嘱機関を延長し、計画的に着実な復旧を実施
- ・ 機能の低下した保安林の針広混交林化による水土保持機能の強化
- ・ ICTなどの新工法等の活用による省力化・効率化に向けた取組を推進



整備により秩まじく  
山崩れ危険地の復旧

### 農山漁村地域整備交付金事業

都道府県の裁量により、農林水産業の基礎整備や農山漁村の防災・減災対策を推進  
・ 林道施設や治山施設等の点検診断や保全整備を支援し、施設の長寿命化対策を推進

### 復旧・復興事業(森林整備・治山)

- ・ 海岸防災林の復旧・再生を推進するとともに、放射性物質の影響により整備が進みたい人工林等において、公的主体による間伐等を引き続き推進

## 成果



地球温暖化防止への貢献

林業の成長産業化の実現

緑の国土強靱化の実現

震災からの復興再生

## 平成28年度 山地災害発生状況とその復旧

## 広島県農林水産局森林保全課 治山グループ

## 1 山地災害発生状況

本県における山地災害発生状況は、平成28年11月末現在407箇所、被害額24億2千万円余の山地災害が発生しており、その内訳は下表及び次のとおりです。

6月落石により1箇所、被害額1千万円、梅雨前線豪雨により394箇所、被害額23億5千万円余、7月梅雨前線豪雨により7箇所、被害額4千万円余、9月豪雨により5箇所、被害額1千万円余となっています。今年度は特に、6月の梅雨前線豪雨災害により、県南東部を中心に15市町で多数の山地災害が発生しました。

## 2 復旧対策

緊急を要する箇所については、県営治山事業である災害関連緊急治山事業、復旧治山事業及び単県事業である治山施設機能強化事業、小規模崩壊地復旧事業において対応しているところです。

その他の箇所についても、緊急性や事業実現性等により優先順位を定めながら、次年度以降、順次施工することとしております。

災害名	箇所数	被害額(千円)	主な市町
6月10日発生落石災害	1	10,000	安芸太田町
6月12日発生梅雨前線豪雨災害	2	7,300	尾道市
6月21日～23日発生梅雨前線豪雨災害	392	2,349,500	福山市, 尾道市, 東広島市, 三原市
7月13日発生梅雨前線豪雨災害	7	42,000	三次市, 呉市
9月18日発生豪雨災害	5	11,500	三次市, 庄原市
計	407	2,420,300	



尾道市御調町 (H28.6.21～23 梅雨前線豪雨災害状況)



### 3 減災対策

治山グループでは、山地災害危険地区の情報を各市町へ配布しております。地域防災計画への掲載やハザードマップの基礎資料として活用していただきたいと思っております。

また、山地災害予知システムの雨量情報を広島県ホームページ「広島県防災Web」に掲載しています。土砂災害危険度情報と合わせ、市町が避難勧告等、災害応急対応を適切に行うための指標として活用していただきたいと思っております。

### 4 治山施設の整備

治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源のかん養、生活環境の保全・形成等を図る事業です。

今後とも、激甚災害の復旧を最優先とし、被災箇所の復旧に取り組みながら、災害のおそれのある箇所についても優先度判定を行い、計画的な事業執行及び災害の防止に努めて参りたいと考えています。

### 5 その他の災害状況写真



治山事業の計画地（福山市赤坂町）



小規模崩壊地復旧事業計画地（尾道市神田町）



## 平成28年度 林道施設災害発生状況とその復旧

### 広島県農林水産局林業課 林業基盤グループ

#### 1 はじめに

平成28年度は、6月20日～21日、22日～23日の梅雨前線豪雨により、県南部を中心に林道施設災害が発生し、その後も、8月28日～29日にかけての豪雨災害により北広島町、9月17日～18日にかけての台風第16号災害では、安芸高田市・安芸太田町・庄原市で林道施設災害が発生しました。

#### 2 林道施設災害の復旧状況

平成28年度は、多くの路線・箇所が被災したことから、林道施設災害査定を3回にわけて実施しました。関係者のご尽力により無事査定を終了することができ、11月以降、早期の復旧に向けて関係市町が工事発注等に取り組んでいます。

査定実施日		8月29日～9月2日	9月13日～9月16日	11月15日～11月18日	計	
対象災害		6月20日～21日、22日～23日にかけての梅雨前線豪雨	6月22日～23日にかけての梅雨前線豪雨	8月28日～29日にかけての豪雨災害 9月17日～18日にかけての台風第16号災害		
被災市町		広島市、呉市、廿日市市、東広島市、府中町、大崎上島町	三原市、尾道市、府中市	庄原市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町		
申請	路線数	9路線	6路線	5路線		20路線
	箇所数	14箇所	10箇所	6箇所		30箇所
	延長	389m	163m	111m	663m	
	被害額	101,167千円	44,038千円	20,259千円	165,468千円	
査定	路線数	9路線	6路線	5路線	20路線	
	箇所数	14箇所	10箇所	6箇所	30箇所	
	延長	386m	162m	111m	659m	
	査定額	98,140千円	30,835千円	20,259千円	149,234千円	

#### (林道施設災害査定実施の状況)





広島市安佐北区中の谷線1号箇所被災状況(左)

復旧状況(右)。沢筋に集中した雨水により路体が流出。路体及び排水施設(カルバート工)を復旧した。

### 3 近年の災害の発生状況

林道施設災害は、ほぼ毎年発生していますが、近年は、これまでに経験したことのないような大規模な豪雨が頻繁に発生しており、被災規模も甚大なものとなっています。平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害で大規模な災害が発生したことは、記憶に新しいところです。

#### 【過去5年間の林道施設災害発生状況】

年度	路線数	箇所数	延長(m)	被害額(百万円)	主な被災市町	備考
H24	9	21	260	90	安芸太田町	
H25	12	33	373	52	三次市, 安芸太田町	
H26	25	94	2,488	191	広島市, 庄原市, 安芸高田市ほか	平成26年8月 広島豪雨災害
H27	—	—	—	—		林道施設災害なし
H28	31	56	964	191	広島市, 三原市, 尾道市, 府中市ほか	

※ 査定対象外の小規模災害等を含む。

### 4 災害査定での反省点

災害査定の受検にあたっては、査定官や立会官から求められる資料が多いことに加え、①雨量データの集計方法、②法面保護工や擁壁工の工法選定根拠、③設計書の作成及び確認への対応が不十分なケースがあったなど、反省すべき点が多々ありました。

これらの反省点を貴重な経験として、今後の円滑な災害査定に活かせればと思います。

### 5 おわりに

災害が発生した場合、現地確認、災害報告、復旧計画策定及び災害査定等の一連の対応を短期間で着実に実施し、速やかに復旧工事にとりかかる必要があります。被災直後に、現場状況を早期に、また的確に把握することは、その後のすべての対応を効率的に実施することにつながります。

関係者の皆様におかれましては、それぞれの役割を十分に御理解して頂き、適正な対応に努めていただければ幸いです。

## 森林協会往来

広島県森林土木建設業協会では森林土木技術研修として、広島市土砂災害の復旧状況の調査のため、10月31日(月)に19名の会員が広島市に来られました。

当日は午前中、「緑井・八木地区」の直轄砂防の工事区域をバスの車窓から遠望した後、安佐南区の「犬戻鳴山」国有林における災害復旧工事の完成現場を案内しました。現地では、近畿中国森林管理局広島森林管理署の橋本専門官(災害調整)から、災害発生当時の状況と「ソイルセメント谷止工」を採用して現場発生材の処理、工事期間の短縮を図ったことなどの説明を受け、施工の状況などを熱心に調査されました。



ソイルセメント谷止工(L=133.0m、H=14.0m)、下流側はコンクリートブロック、上流側は軽量鋼矢板

## 森林協会等の今後の主な行事

開催年月日	行事名	開催場所
1月19日(木)	全国治山林道協会会長会議	東京 ルポール麴町
1月26日(木)	全森建常勤役員・事務局長等会議	東京 霞山会館
2月9日(木)	(公社) 広島県みどり推進機構総会	メルパルク広島
4月20日(木)	都道府県森林土木コンサルタント連絡協議会総会	東京 海運クラブ
5月中旬	平成28年度広島県森林協会 第5回理事・役員会	広島市
6月下旬	平成29年度広島県森林協会 第1回理事・役員会	広島市
7月上旬	広島県森林土木建設事業促進協議会 第34回通常総会	広島市
7月下旬	平成29年度広島県森林協会定時総会	広島市